

# 令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果について（美祢市）

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果についてお知らせします。

## 1 調査の概要

### （1）目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### （2）調査期日 令和4年4月19日（火）

### （3）調査を実施した校数・児童生徒数

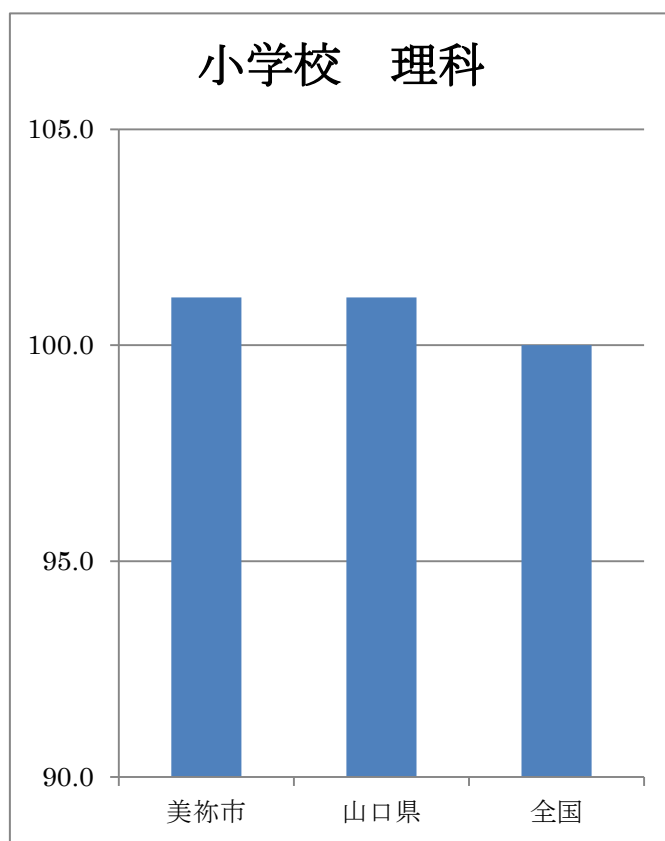
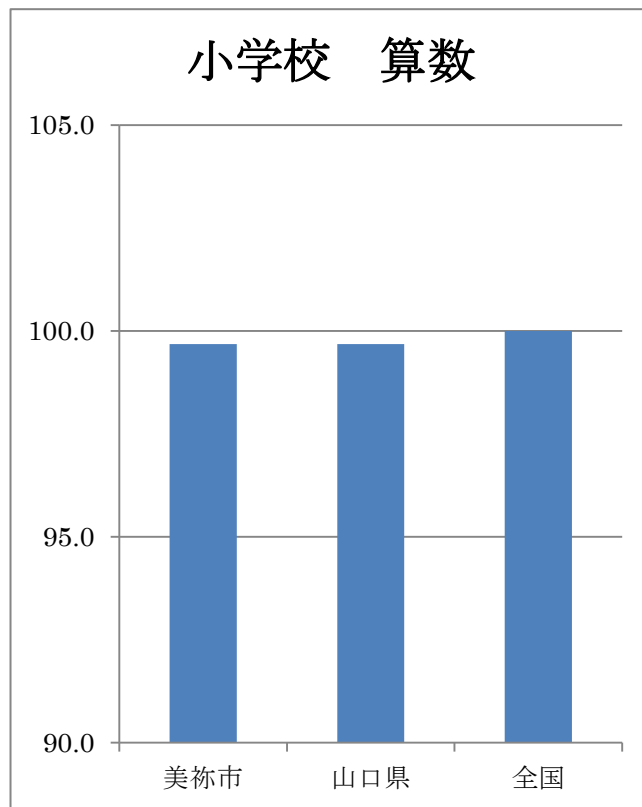
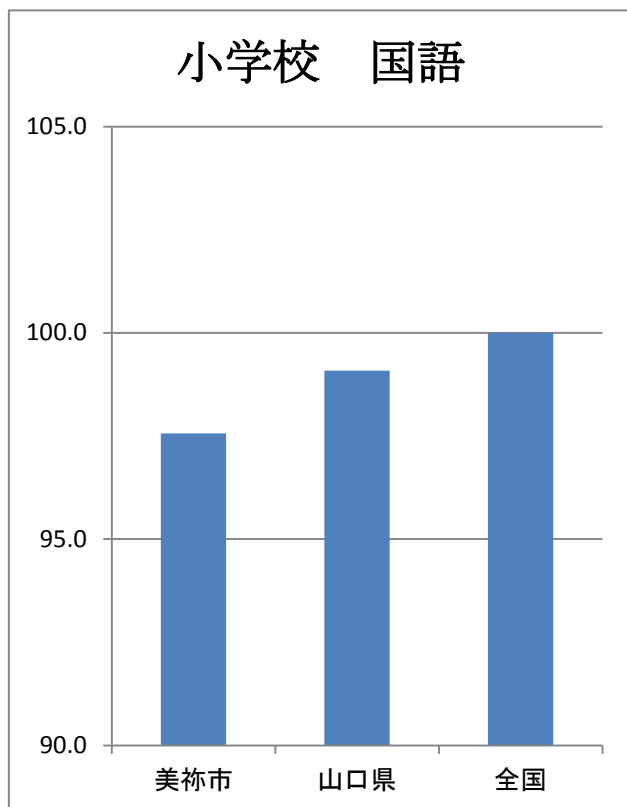
| 学年      | 学校数 | 児童生徒数    |
|---------|-----|----------|
| 小学校第6学年 | 11校 | 児童数 134人 |
| 中学校第3学年 | 6校  | 生徒数 157人 |

## 2 美祢市の結果

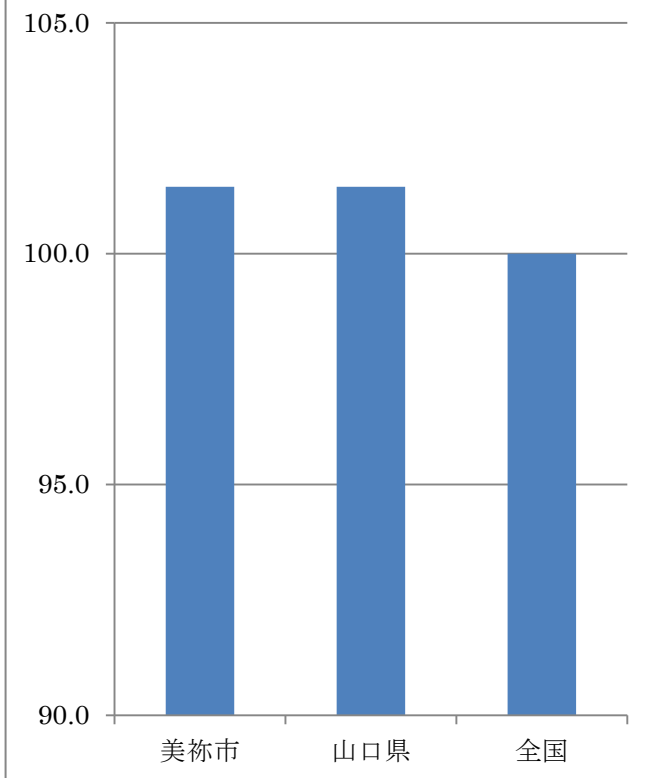
### （1）教科に関する結果

|     | 小学校  |      |      | 中学校  |      |      |
|-----|------|------|------|------|------|------|
|     | 国語   | 算数   | 理科   | 国語   | 数学   | 理科   |
| 美祢市 | 64   | 63   | 64   | 70   | 48   | 46   |
| 山口県 | 65   | 63   | 64   | 70   | 52   | 49   |
| 全国  | 65.6 | 63.2 | 63.3 | 69.0 | 51.4 | 49.3 |

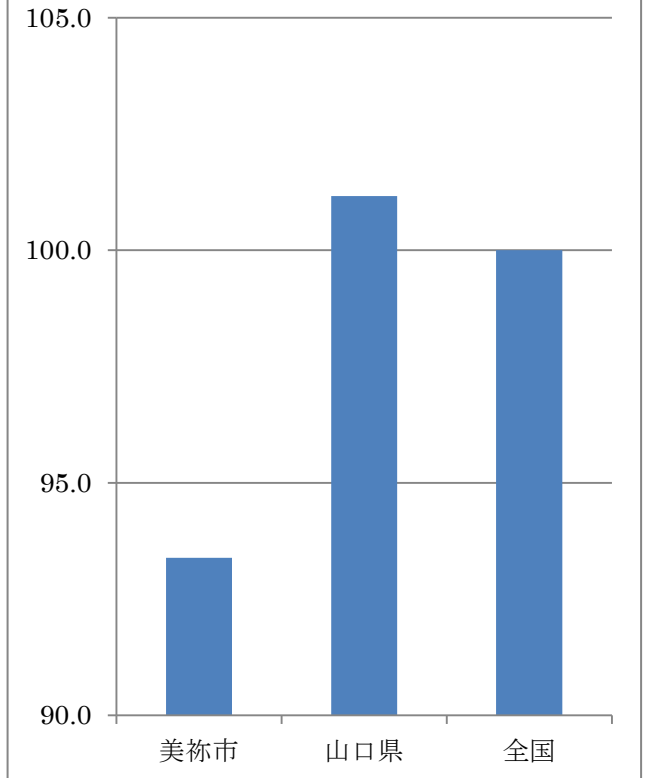
下のグラフは、令和4年度における全国平均正答率を100としたときの美祢市と県平均の割合を示したものである。



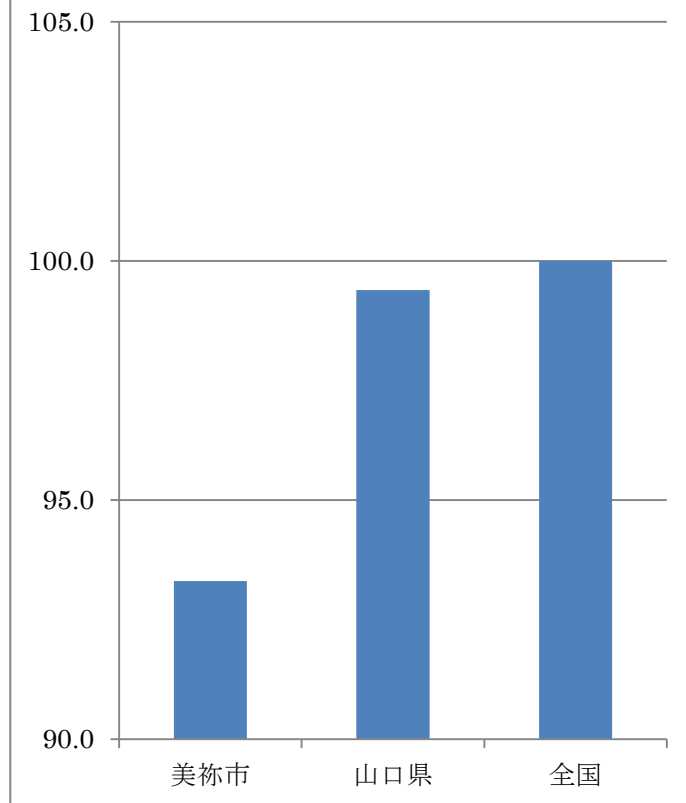
中学校 国語



中学校 数学



中学校 理科



【教科の出題の具体より (( ) は県平均との差)】

小学校  
国語

- ◎ 言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることを捉える (+6.0%)
- △ 登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉える (-8.7%)
- △ 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う (-7.9%)

小学校  
算数

- ◎ 加法と乗法の混合したポイント数の求め方を解釈し、ほかの場合のポイント数の求め方と答えを記述できる (+6.8%)
- △ 示された場面において目的に合った数の処理の仕方を考察できる (-6.0%)
- △ 分類整理されたデータを基に、目的に応じてデータの特徴を捉え考察できる (-7.1%)
- △ 示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解している (±0%、全体正答率 19.4%)

小学校  
理科

- ◎ メスシリンダーという器具を理解している (+16.7%)
- △ 観察などで得た結果を、他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる (-3.5%)
- △ 日光は直進することを理解している (-3.7%、全体正答率 25.9%)

中学校  
国語

- ◎ 文脈に即して漢字を正しく書く (+6.7%)
- △ 聞き手の興味・関心などを考慮して、表現を工夫する (-7.5%)
- △ 論理の展開などに注意して聞く (-7.6%)

中学校  
数学

- ◎ データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる (+4.1%)
- △ 箱ひげ図から分布の特徴を読み取ることができる (-9.3%)
- △ 証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している (-8.4%)
- △ 筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明することができる。 (-3.7%、全体正答率 6.2%)
- △ 簡単な連立二元一次方程式を解くことができる (-2.2%)
- △ 反例の意味を理解している (-4.6%)
- △ 一次関数の変化の割合の意味を理解している (-4.8%)
- △ 多数の観察や多数回の思考によって得られる確率の意味を理解している (-0.3%)

中学校  
理科

- ◎ 未知の節足動物とアリの外部形態を比較して共通点と相違点を捉え、分類の観点や基準を基に分析して解釈できるかどうかをみる (+6.3%)
- △ 液体が気体に変化することによって温度が下がる身近な事象を問うことで、状態変化に関する知識及び技能を活用できる (-16.6%)
- △ アリの行列のつくり方を探究する場面において、視覚による情報を基に行列をつくるかを調べた実験の結果を分析して解釈し、課題に正対した考察を行うことができるかどうかをみる (-9.6%)

小学校  
国語

◎ 言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることを捉える (+6.0%)

1 同さんの学紙では、地域のためにできることについて話し合うことになりました。同さんのグループでは、学校の近くにある公園をきれいにするかどうかについて話し合っています。次は、そのときの「話し合いの様子(の一部)」です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【話し合いの様子(の一部)】

同さん 学校の近くの公園は、広くて遊具があり、一年生のころから遊んでいる場所です。私は、今まで使ってきた公園を自分たちできれいにすることに、もっとたくさんの人に気持ちよく使ってもらえるようにしたいです。私自身、どうすればよいか考えているのですが、みなさんはどんなアイデアがありますか。

谷原さん 私は、公園に行くとき、おかしなふうなアベトポトルがいつも落ちてくるのが気になります。そこで、ゴミを拾うサービスがあるよ、と思います。「アベトポトル」というのは、ロボットのことではなく、活動する時間のことです。

山下さん 公園のゴミを拾うことは、すぐにはできませんよ、と思います。でも、続けることは難しい気がしますが、私は、この公園には花が少ないので、許可をもらって、もっとたくさんの花を植えば、はなやかな感じになると思います。

谷原さん 確かに、山下さんの言うとおり、花を植えることは私たちにもできるし、はなやかになり、よいと思います。ただ、こまめに公園へ行って花の水やりなどの世話を続けることも難しいですね。

山下さん その点については、もう少し考えていきたいと思います。

前田さん 私は、公園の遊具のベンキをぬり直すことが必要なのですが、  
う どうして、公園の遊具のベンキをぬり直すことが必要なのですか。

前田さん 公園のすべり台やジャングルジムは、できたら自分でできるとか、自分で気になって、きれいに感じます。そこで、自分たちだけでできるかどうかは気になりますが、明るい感じにするために赤色や黄色のペンキで、ぜひぬり直したいと思っています。

中村さん なるほど、いいアイデアですね。ベンキをぬり直して明るくすると、公園がきれいなこと、という点ですね。

同さん こうして、みなさんの話を聞いてみると、どれも公園をきれいにするためのアイデアですね。

中村さん 今までの話し合いで出たアイデアについて、よい点と問題点に分けて「メモ」をしてみました。  
私は、公園が明るくなるので、ベンキをぬり直すことがよいと考えました。できるとかどうかは分からないという問題点については、公園を管理している人や家の人に相談するとよいと思います。

同さん みなさんのアイデアや「メモ」から、取り組みやすいという理由で、私は、  
S (話し合いが続く) S

|        |             |                 |
|--------|-------------|-----------------|
| アイデア   | ○よい点        | △問題点            |
| 「ごみ拾い」 | ○こみがなくなる    | △続けることがむずかしい    |
| 花植え    | △はなやかな感じになる | ○世話を続けることがむずかしい |
| ベンキぬり  | ○明るくなる      | △できるかどうかは分からない  |

- 二 「話し合いの様子(の一部)」で、谷原さんや中村さんが、——部イヤ——部エのように発言した理由として最も適切なものを、次の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましよう。
- 1 友達の見解に賛同し、みんなの意見の一つにまとめるため。
- 2 友達の見解に賛同し、認め合いながら話を進めるため。
- 3 友達の見解のよさを伝え、みんなの意見の一つにまとめるため。
- 4 友達の見解のよさを伝え、認め合いながら話を進めるため。

△ 登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉える (-8.7%)

【物語の一部】※ 部アからオヤ、……部①から⑤は、あとの問いで取り上げられます。

「ここ、宇宙ものの専門店なの?」  
とさくと、老人は、  
「まあ、そうだが、わしは、他のものには興味がないもんでな。」  
「へえ、ぼくもそう。」  
「展示品にさわっていい?」  
「もちろん。」  
「銀なし眼鏡の裏で老人は、目を細めた。  
「いま、きみが手にしたやつなんて、なかなかの出来だろ。基本的なデザインはわしが考へたんじやよ。」  
それは、全長七センチ、直径三センチほどの卵型の宇宙船の模型で、船首の円錐も、船尾の七つの星型の突起も、船体の真ん中につけた大きめの窓も、ア先週、図工の時間に、ぼくが描いた宇宙船の輪郭にそっくりだった。  
「いいな、こんな感じでほんとうに飛べたらなあ。」  
「この宇宙船は、星と星を旅したり、過去と未来をいつたりきたりすることができんだよ。」  
老人は言う。  
「ぼくはうっとりしてしまった。  
「一歳前年の記憶にも会ってみたいし、一千年後の未来都市も見てみたい。それがぼくの夢だった。」  
「ただ、時間の壁を越えさずにはいられないよ。」  
と、老人は言った。  
「光よりも速くはなればならない。」  
「どうも早く速くはなればならないの? ようし、いつかぼくが作るうっと。」  
①「ぼくは、模型の宇宙船をだきはじめた。  
「ねえ、おじちゃん、この模型はいくらぐらいするの?」  
これだけ精密なものだったから、ずいぶん高いにちがいない。船体も大きいわりには、軽くてふつぷりのプラスチック製の機体は思えなかった。貯金をはたいても買えるかどうか……。  
「大学の研究室で作ったからなあ……。」  
老人はつぶやいて、電卓をはじいた。ぼくは、電卓の緑色の液晶表示板をのぞき込んだ。おぼろげに思い出した。オレンジ色の数字は、あんなりに天文学的だったから。  
「ぼくは、ぜんぜん手がでないやあ。」  
と、うなだれていると、老人は、ぼくの肩をたいて、  
「模型よりも、本物を見たくないかい?」  
「ほんもの?」  
「家のガレージにある。」  
「ぼくは気が動転してしまった。  
「ほんものって?」  
「まあ、ついておいで。」  
老人は、ロボットに店番を頼むと、よっこらしよっと立ちあがり、裏口を開けて、ぼくを手招きした。  
店の裏は野原になっていて、いちめんのススキの海の中にビニールのドーム型ガレージがあった。  
老人は、ススキの穂をかきわけて進んだ。  
ガレージはずいぶん大きなもので、老人がパチッと指を二回鳴らすと、ドームの屋根が左右にゆっくりと開いていった。  
卵の形をした銀色の船体が横たわっている。ゆるやかな曲線が、午後の日差しをほんしやしてまぶしく輝いた。  
すると、船体からトラップがおりてきて、ドアがあった。  
「ぼくは、老人のあとから宇宙船に足を踏み入れた。  
通路をはさんで千千ピッチとコックピットに分かれている。  
「これもおじちゃんを作ったの。」  
ぼくの声は、少し震えていた。  
老人はにっこりした。  
コックピットは、とてもシンプルだった。リクライニング式の操縦席の前面のパネルには、コンピュータが埋めこまれて、ぶいんと小さな振動音をたてていた。

「ここ、宇宙ものの専門店なの?」  
とさくと、老人は、  
「まあ、そうだが、わしは、他のものには興味がないもんでな。」  
「へえ、ぼくもそう。」  
「展示品にさわっていい?」  
「もちろん。」  
「銀なし眼鏡の裏で老人は、目を細めた。  
「いま、きみが手にしたやつなんて、なかなかの出来だろ。基本的なデザインはわしが考へたんじやよ。」  
それは、全長七センチ、直径三センチほどの卵型の宇宙船の模型で、船首の円錐も、船尾の七つの星型の突起も、船体の真ん中につけた大きめの窓も、ア先週、図工の時間に、ぼくが描いた宇宙船の輪郭にそっくりだった。  
「いいな、こんな感じでほんとうに飛べたらなあ。」  
「この宇宙船は、星と星を旅したり、過去と未来をいつたりきたりすることができんだよ。」  
老人は言う。  
「ぼくはうっとりしてしまった。  
「一歳前年の記憶にも会ってみたいし、一千年後の未来都市も見てみたい。それがぼくの夢だった。」  
「ただ、時間の壁を越えさずにはいられないよ。」  
と、老人は言った。  
「光よりも速くはなればならない。」  
「どうも早く速くはなればならないの? ようし、いつかぼくが作るうっと。」  
①「ぼくは、模型の宇宙船をだきはじめた。  
「ねえ、おじちゃん、この模型はいくらぐらいするの?」  
これだけ精密なものだったから、ずいぶん高いにちがいない。船体も大きいわりには、軽くてふつぷりのプラスチック製の機体は思えなかった。貯金をはたいても買えるかどうか……。  
「大学の研究室で作ったからなあ……。」  
老人はつぶやいて、電卓をはじいた。ぼくは、電卓の緑色の液晶表示板をのぞき込んだ。おぼろげに思い出した。オレンジ色の数字は、あんなりに天文学的だったから。  
「ぼくは、ぜんぜん手がでないやあ。」  
と、うなだれていると、老人は、ぼくの肩をたいて、  
「模型よりも、本物を見たくないかい?」  
「ほんもの?」  
「家のガレージにある。」  
「ぼくは気が動転してしまった。  
「ほんものって?」  
「まあ、ついておいで。」  
老人は、ロボットに店番を頼むと、よっこらしよっと立ちあがり、裏口を開けて、ぼくを手招きした。  
店の裏は野原になっていて、いちめんのススキの海の中にビニールのドーム型ガレージがあった。  
老人は、ススキの穂をかきわけて進んだ。  
ガレージはずいぶん大きなもので、老人がパチッと指を二回鳴らすと、ドームの屋根が左右にゆっくりと開いていった。  
卵の形をした銀色の船体が横たわっている。ゆるやかな曲線が、午後の日差しをほんしやしてまぶしく輝いた。  
すると、船体からトラップがおりてきて、ドアがあった。  
「ぼくは、老人のあとから宇宙船に足を踏み入れた。  
通路をはさんで千千ピッチとコックピットに分かれている。  
「これもおじちゃんを作ったの。」  
ぼくの声は、少し震えていた。  
老人はにっこりした。  
コックピットは、とてもシンプルだった。リクライニング式の操縦席の前面のパネルには、コンピュータが埋めこまれて、ぶいんと小さな振動音をたてていた。

- 森田さんは、ふせんを貼ったところをもう一度読んでいます。次の(1)と(2)の問いに答えましょう。
- (1) 森田さんは、……部①に表れている「ぼく」の気持ちの説明として適切なものを、次の1から5までの中から二つ選んで、その番号を書きましょう。
- 1 模型の宇宙船が手に入らない悲しさ
  - 2 本物の宇宙船を手に入れた喜び
  - 3 本物の宇宙船を作ることへのあこがれ
  - 4 本物の宇宙船を作ることへの不安
  - 5 模型の宇宙船を見た感動

ふせん

「キヤビンは銀色で統一されたシックな空間で、六畳ほど。ベッドをかねたソファがふたつ壁ぎわに置かれ、真ん中に楕円形のテーブルがある。そして廊下側の壁には、一枚の老人のポートレートが飾ってあった。写真の老人は、きちんとしたタキシードを着てすましかえっていたけれど、まさしくぼくの隣にいる老人だった。」

「これは、わしが、超光速推進(スベースワープ)装置の発明によって、賞をもらったときの写真なんだ。授賞式が六十九歳の誕生日と重なったりしたもんだから、記念に撮ってもらったんだよ。」

「へえ、おじいちゃんは有名なんだね。」

ぼくは言って、ポートレートの額縁に刻まれた文字を見て、どきっとした。(ヒロキ・タチバナ教授・科学アカデミー賞受賞記念)と、あったのだ。

「ぼくと同じ名前だ。」

才(サイ)同姓同名か……。そんなことは世間ではいくらでもあるが、やはり、ぼくは老人にさらに親近感を深めて、笑いかけた。

宇宙船の外に出ると、老人は言った。

「このワンダーボール号、気に入ったかね? この船を見せたかったんだよ。」

ワンダーボール号。

それは、ぼくが園工の時間に描いた宇宙船、未来から過去へ、過去から未来へ、時間の壁を越えて自由に飛翔するあの宇宙船に、ひそかに付けた名前だ。②だれにも教えたことがなかったのに。

「ぼくはきゆうに不安を感じて、立ちどまった。」

③(ひょっとしたら、老人は六十年未来からやってきたぼく?)

そのとき、老人が、うしろで、

「じゃあな。」

とつぶやいたようだった。

ふりかえると、老人も、宇宙船も模型屋もあとかたもなく消えていた。

ただ、透明な空の青さのなかで、ススキの穂波が銀色に光り、風にそよんでいるだけだった。

(那須田淳「銀色の幻想」による)

△ 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う (-7.9%)

### 学校の今後の取組

- R3年度に引き続き、読解力に課題が見られます (R3…-10%)。物語を読む際に、全体を通してどんな話かという大枠をとらえると共に、文章中のどの叙述から登場人物の心情を読み取ったのかということ友達と話し合う活動を授業の中に明確に位置づけていきます。文章を読むときに、視点をもって読むことで、叙述に即して的確に読み取ることができる力を育成していきます。
- 漢字などの基礎的な学習は AI 型ドリル教材を使って学習すると共に、既習の漢字を適切に使って文章表現する学習を行い、日常生活の中で実用的に活用できる漢字の学習を行っていきます。

次の部イを漢字でいねいに書きましょう。

そして、当番の日に水やりをするだけで、南さんのように、みんなのために新たな活動を提案できなかったことを、いはいはんせいしました。

## 小学校 算数

◎ 加法と乗法の混合したポイント数の求め方を解釈し、ほかの場合のポイント数の求め方と答えを記述できる (+6.8%)

3

6年生のまなみさんの学級では、みんながもっと仲良くなるために、お楽しみ会をすることにしました。

(4) 交流会の遊びの決め方として、別の意見が出ました。



1年生の希望をよりかなえてあげるほうがよいと思います。

あかりさんたちは、1年生の希望を1人につき10ポイント、6年生の希望を1人につき5ポイントとして計算し、1年生と6年生のポイント数の合計で遊びを決めることにしました。そこで、下の表を見直しました。

希望する遊び (交流会) (人)

| 遊び<br>学年 | 輪投げ | かくれんぼ | なぞなぞ | 縄とび | 紙飛行機 | 合計 |
|----------|-----|-------|------|-----|------|----|
| 1年       | 15  | 14    | 10   | 7   | 4    | 50 |
| 6年       | 4   | 8     | 10   | 18  | 7    | 47 |

あかりさんは、輪投げのポイント数を次のように求めました。

【あかりさんの求め方】

輪投げを希望している人数は、1年生が15人、6年生が4人なので、輪投げのポイント数は、 $10 \times 15 + 5 \times 4 = 170$ で、170ポイントです。

【あかりさんの求め方】をもとにして、かくれんぼのポイント数を求めると、何ポイントになりますか。

1年生と6年生のそれぞれのポイント数の求め方がわかるようにして、かくれんぼのポイント数の求め方を式や言葉を使って書きましょう。また、答えも書きましょう。

△ 分類整理されたデータを基に、目的に応じてデータの特徴を捉え考察できる (-7.1%)

(2) お楽しみ会のアンケート調査の結果から、2つの遊びを決めます。



選んだ人がいちばん多いビンゴと、その次に多いクイズに決めたらどうでしょうか。



選んだ人がいちばん多いビンゴをもとに、アンケート調査の結果を整理しました。一人一人が選んだ遊びを見てください。ビンゴとクイズに決めると、22番から24番の3人の希望が1つも通らないことになります。



ビンゴとクイズに決めてしまうと、全員の希望が通ったことにはならないですね。



24人全員の希望が1つは通るように、2つの遊びを決めることができますよ。

今回のアンケート調査の結果では、24人全員の希望が1つは通るようには、2つの遊びを決めることができます。

その2つの遊びは、どれとどれですか。右の一人一人が選んだ遊びを見て、下の1から4までの中から2つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 クイズ
- 2 宝探し
- 3 しりとり
- 4 ビンゴ

一人一人が選んだ遊び

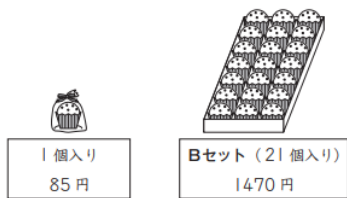
|    | 選んだ遊び |      |
|----|-------|------|
| 1  | ビンゴ   | クイズ  |
| 2  | ビンゴ   | クイズ  |
| 3  | ビンゴ   | クイズ  |
| 4  | ビンゴ   | クイズ  |
| 5  | ビンゴ   | クイズ  |
| 6  | ビンゴ   | クイズ  |
| 7  | ビンゴ   | クイズ  |
| 8  | ビンゴ   | クイズ  |
| 9  | ビンゴ   | クイズ  |
| 10 | ビンゴ   | 宝探し  |
| 11 | ビンゴ   | 宝探し  |
| 12 | ビンゴ   | 宝探し  |
| 13 | ビンゴ   | 宝探し  |
| 14 | ビンゴ   | 宝探し  |
| 15 | ビンゴ   | しりとり |
| 16 | ビンゴ   | しりとり |
| 17 | ビンゴ   | しりとり |
| 18 | クイズ   | 宝探し  |
| 19 | クイズ   | 宝探し  |
| 20 | クイズ   | 宝探し  |
| 21 | クイズ   | 宝探し  |
| 22 | 宝探し   | しりとり |
| 23 | 宝探し   | しりとり |
| 24 | 宝探し   | しりとり |

△ 示された場面において目的に合った数の処理の仕方を考察できる (-6.0%)

- (4) カップケーキが1個入り85円でも売られています。  
くるみさんは、1個入り85円のカップケーキ21個分の値段と、Bセット  
1箱分の値段である1470円を比べることにしました。



85 × 21の答えが1470より必ず大きくなることは、85 × 21  
をそのまま計算せずに、85と21をがい数にして計算してもわ  
かります。



1個入り85円のカップケーキ21個分の値段は、85 × 21で求めること  
ができます。

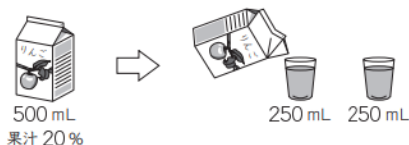
85 × 21の答えが、1470より必ず大きくなるのがわかるためには、  
「85」と「21」をどのようにがい数にして計算するとよいですか。  
下のアからエまでの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。

- ア 85を小さくみて80、21を小さくみて20として計算します。  
イ 85を小さくみて80、21を大きくみて30として計算します。  
ウ 85を大きくみて90、21を小さくみて20として計算します。  
エ 85を大きくみて90、21を大きくみて30として計算します。

△示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解している  
(県平均との比較±0%，全体正答率19.4%)

- (3) りんごの果汁が20%ふくまれている飲み物が500mLあります。  
この飲み物を2人で等しく分けると、1人分は250mLになります。

上のアにあてはまる文を、下の1から3までの中から1つ選んで、  
その番号を書きましょう。



- 1 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になると、果汁の割合も $\frac{1}{2}$ になります。  
2 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になると、果汁の割合は2倍になります。  
3 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になっても、果汁の割合は変わりません。

250mLの飲み物にふくまれている果汁の割合について、次のようにまど  
めます。

250mLは、500mLの $\frac{1}{2}$ の量です。

このとき、

学校では

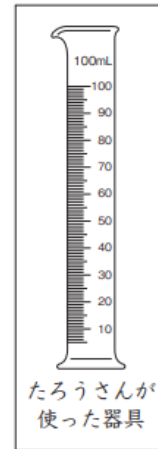
- 公式を使う問題や四則計算などの機械的に答えを求める問題ではなく、知識を活用した思考を伴う問題に課題があります。特に割合の理解については、R3年度に引き続き課題が見られます(R3...5%)。計算の仕方など、知識・技能についてはAI型ドリル教材等を活用して繰り返し学習することで効率的に学び、思考を伴う問題により時間をかけて児童が試行錯誤しながら話し合い、協働的に学べるように学習活動の工夫をします。また、教師が説明する授業から児童が一人一人の理解に応じてしっかりと考えを深め、自分のペースで学びを進める授業づくりを行うことで思考力の向上を図ります。
- 日常生活の中に算数で学ぶ内容が密接に関わりあっているものがたくさんあります。生活の場面で、算数で学習した考え方を活用しなければならない例題を取り扱うことで算数を学ぶ意味を実感することを通して、学ぶ意欲の向上と学習内容の定着を図っていきます。



◎ メスシリンダーという器具を理解している (+16.7%)

(1) たろうさんは、実験で使用する砂糖水と食塩水をつくるために、水 50 mL を右のような器具を使ってはかりとることにしました。

たろうさんが使った器具の名前を書きましょう。







△ 観察などで得た結果を、他者の気づきの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる (-3.5%)

9月になり、ひろしさんたちは、ほかにも調べていたこん虫を下の表のように4つのグループに分けました。



主な食べ物については、「植物」と「動物」で分けたよ。

(5) ひろしさんたちは、左の表に、さらに調べたこん虫を加えているときに、次のことに気づきました。

|       |    | 〈こん虫の育ち方と主な食べ物〉   |   |
|-------|----|---|---|
|       |    | 育ち方   |   |
|       |    | さなぎになる  | さなぎにならない  |
| 主な食べ物 | 植物 | <b>1</b> モンシロチョウ<br><br>幼虫：キャベツの葉など<br>成虫：花のみつなど | <b>2</b> ショウリョウバッタ<br><br>幼虫：ススキの葉など<br>成虫：ススキの葉など |
|       | 動物 | <b>3</b> ゲンゴロウ<br><br>幼虫：イトミミズなど<br>成虫：イトミミズなど   | <b>4</b> シオカランボ<br><br>幼虫：イトミミズなど<br>成虫：ハエなど       |

【気づいたこと】

- ・幼虫のときにも、成虫のときにも、植物を食べるこん虫がいた。
- ・幼虫のときにも、成虫のときにも、動物を食べるこん虫がいた。
- ・表のこん虫以外で、成虫のときに植物も動物も食べるこん虫がいる。

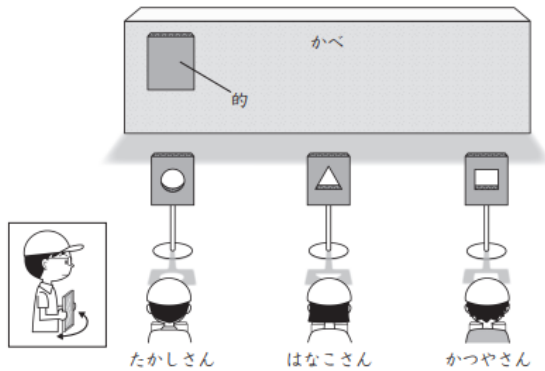
ひろしさんは、【気づいたこと】をもとに、【問題】を見つけ、解決していくことにしました。どのような【問題】を見つけましたか。下の 1 から 4 までの中から最も適切なものをもつて、その番号を書きましょう。

- 1 表のこん虫以外で、さなぎになるこん虫は、いるのだろうか。
- 2 モンシロチョウの幼虫は、キャベツの葉を食べるのだろうか。
- 3 表のこん虫以外で、幼虫のときに植物も動物も食べるこん虫は、いるのだろうか。
- 4 なぜ、ゲンゴロウの幼虫や成虫は、動物を食べるのだろうか。

△ 日光は直進することを理解している (-3.7%、全体正答率 25.9%)

3

たかしさんたちは、晴れた日に科学クラブで、同じ大きさの鏡を使い日光をはね返して、的あてゲームをしました。



上の図のように、3人とかべの間に、それぞれ、円形、三角形、四角形に切りぬいた、鏡と同じ大きさの段ボールの板を置きました。

(1) 3人が上の図の位置で鏡の向きを変え、それぞれが日光をはね返して、3つの段ボールの板にあてたときに、かべの左にある的に、三角形の光をあてることができるのはだれですか。下の 1 から 4 までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 たかしさん
- 2 はなこさん
- 3 かつやさん
- 4 全員

## 学校では

- 前回理科が実施された H30 年度と比較して、全体的な数値は改善しており、平均は県と同等であるものの、設問ごとにみると、H30 年度に引き続き、知識・技能、思考力と全般に課題が見られます。知識として習得すべきことと科学的に思考することをバランスよく学習し、子供たちに力をつけていきます。
- 観察・実験したことからわかったことや気づいたこと、疑問に思うことなどを発表させるなど、自分の考えを科学的根拠に基づいて表現する活動を重視して学習を進めます。また、思考を広げたり、深めたりすることができるよう、自分の考えを友達と共有し、話し合う活動を継続して行っていきます。
- 疑問を解決するために観察・実験を目的意識をもって自分で行い、教科書に書かれている内容を実際に実証することで理科の楽しさを感じると共に、実感を伴った学力として定着させていきます。
- 身の回りの自然現象や事象の中にもたくさんの不思議が隠れています。当たり前だと思っていることにも「なぜだろう」と思える好奇心を育てていくことが理科の楽しさを味わうことにつながるので、遊びや日々の活動の中で、様々な体験をすることを通し、科学的に考える力をつけていきます。

◎ 文脈に即して漢字を正しく書く (+6.7%)

二  
線部①と線部②のひらがなを漢字に直し、楷書でいねいに書きなさい。

2 小林さんは、国語の時間に、「先端技術との関わり方」というテーマで意見文を書いています。次は、文書作成ソフトを使って小林さんが書いた【意見文の下書き】と友達が書いた【コメントの一部】、小林さんがコメントを受けて集めた【農林水産省のウェブページにある資料の一部】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【意見文の下書き】

私たちの生活は、先端技術により、わずかな期間で大きく様変わりしてきている。便利なことが増えてよいと感じるが、目的に応じて選択して活用することが大切だと思う。

そう考えるようになったのは、農業を営み、広大な農地を二人で管理している祖父母に、スマート農業についての話を聞いたからだ。祖父母は、今年に入ってからロボットトラクタを導入し、作業の一部を自動化した。そのおかげで、農地を耕したり種をまいたりすることに加え、草を取りのぞく作業も効率よく進むようになったという。負担が軽減したことをよろこんでいる祖父母に、他に取り入れているものはないかを聞いてみた。すると、「スマート農業に関連する様々な先端技術はあるが、これまでの経験を生かして対応できるので、他には取り入れている」とのことだった。スマート農業には、作業を自動化すること以外の効果もあるようだ。しかし、祖父母は、自分たちに必要なものを選択して活用していた。

これは、私たちが意識しなければならないことだと思った。今後、身の回りには様々な先端技術がさらに普及していけよう。私も祖父母のように、目的に応じて選択しながら先端技術を活用していきたい。

【コメントの一部】

上野  
他にどのような効果があるのかを具体的に書いた方がよいのではないだろうか。

中村  
私も同感です。スマート農業の効果を書き加えることで、小林さんが、自分の考えの根拠として示しているこの段落の内容が分かりやすくなると思います。

△ 聞き手の興味・関心などを考慮して、表現を工夫する (-7.5%)

一 川口さんは、二人の会話の一部——線部①「呼びかけたり聞いかけたりする表現はしてみようか」という田中さんからの助言を受け、「最近、ふだんの生活がこれまでとは違うものになってきていると感じます」という部分に言葉を加えて直すことにしました。あなたならどのように直しますか。実際に話すように書きなさい。

1 川口さんは、国語の時間に、最近気になったことについてスピーチをする学習に取り組んでいます。川口さんは、動画に自分のスピーチを記録し、それを田中さんに見せて助言をもらっています。次の「川口さんのスピーチ」と「二人の会話の一部」を読んで、あとの問いに答えなさい。

川口さんのスピーチ  
最近、ふだんの生活がこれまでとは違うものになってきていると感じます。その変化は、学校での学習にも表れていると思います。例えば、授業でインターネットを活用する機会が増えました。特に、オンラインで離れた場所にいる人と会話することもできて、その便利さを実感しています。一方で、相手と直接会っていないので、やりとりをスムーズに行いにくいという面もあるのではないかと感じます。

動画を止める

二人の会話の一部  
田中  
ここで動画を止めてもらえますか。「最近、ふだんの生活がこれまでとは違うものになってきていると感じます」という部分は、聞き手を引き付けるために、呼びかけたり聞いかけたりする表現にしてみようか。やりとりをスムーズに行いにくい」という部分は、私も同じように感じたことがあり、この後のスピーチの内容に興味をもつことができましたよと思います。

川口  
ありがとうございます。



△ 論理の展開などに注意して聞く (-7.6%)

- 二 「二人の会話の一部」で田中さんは、——藤部の「始めに話したこととつながっている点が良い」と述べていますが、これを具体的に説明したものと最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。
- 1 インターネットの「便利さを実感」していることの例として、総合的な学習の時間での自分の経験を挙げている点が良い。
  - 2 インターネットの「便利さを実感」していることの例として、友達と話してくれた言葉や経験を挙げている点が良い。
  - 3 「やりとりをスムーズに行いにくい」ということの例として、総合的な学習の時間での自分の経験を挙げている点が良い。
  - 4 「やりとりをスムーズに行いにくい」ということの例として、友達と話してくれた言葉を挙げている点が良い。

この言葉聞いてはっとしました。オンラインであっても、相手  
が話したことに相づちを打ったり、相手の話を受けてさらに質問を  
したりするように意識することが大事だったので。これからは、  
オンラインで人と話すときにも、そのことに気を付けて、相手の  
やりとりをスムーズに行えるようにしたいと思います。

動画を止める

川口 オンラインでアンケートをしたときのことを  
入れてみました。どうでしょうか。  
甲 身近な内容で共感できました。始めに話したこ  
ととつながっている点が良いと思います。

動画を止める

田中 川口さんが伝えたい内容は分かりました。ただ、  
スピーチの冒頭から同じ調子で話しているので、  
言葉の抑揚や強調、問の取り方などの話し方を工  
夫してみてもどうでしょうか。例えば、「オンラ  
インで離れた場所にいる人と会話すること」と  
いう部分は、伝えたい内容に関係することなので、  
聞き手に関心をもってもらうために、ゆっくり大  
きな声で話すという点ではないでしょうか。

川口 なるほど。他の部分も話し方を工夫してみます。

学校では

○ 漢字や語句などの知識面の力については一方、他者に効果的に考えを伝えるなどの表現力については引き続き課題が見られます (R3…知識・技能+7%、表現力…-2%)。自分の考えや意見を他者に伝える活動を国語科だけではなく、様々な教科や総合的な学習の時間などで行っていきます。伝える相手を具体的に意識させ、どのように伝えるとわかりやすいかを考えながら表現を工夫させることで、表現力の向上を図ります。

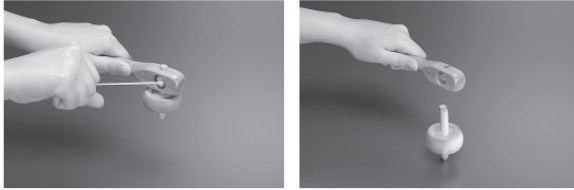
また、よりよい表現にするために、友達の表現のよさを出し合い、お互いに認め合ったり、修正点について自ら振り返ったりする活動を取り入れていきます。

○ 自分の思いをわかりやすく伝えることは、子供たちが社会に出て他者と協働するために必要な力です。地域の方々や小学生等と触れ合い、共に活動する場面を通して、自分の思いを表現させる活動を積極的に行います。さらに、朝の読書時間を設定するなどして読書習慣をつけることで多くの優れた表現に触れる機会を作ります。

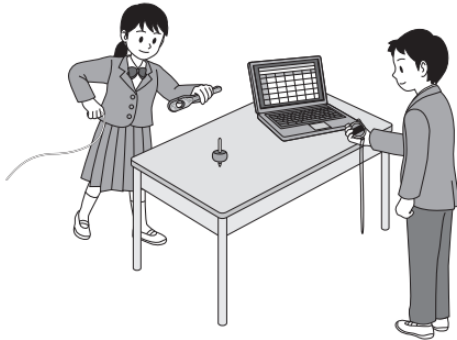
## 中学校 数学

### ◎ データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる (+4.1%)

- 7 学級でコマ回し大会をします。この大会では、次の図のようなひもを引いて回すコマを使って一人1回コマを回し、最も長い時間コマを回した人を優勝とします。



大地さんと葉月さんは、コマAとコマBのうち、どちらのコマを使うかを検討することになりました。



- (1) 二人は、どちらのコマがより長い時間回りそうかを調べるために、2つのコマを20回ずつ回し、それぞれのコマが回った時間のデータを集めました。そして、それぞれのデータについてヒストグラムをつくり、それらと比較して考えることにしました。

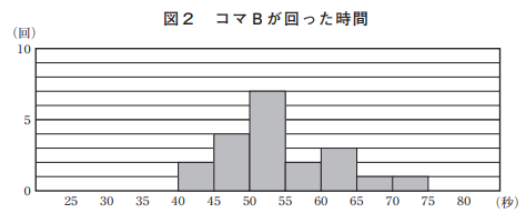
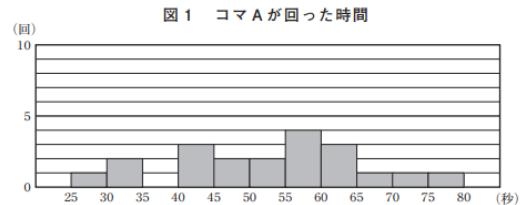


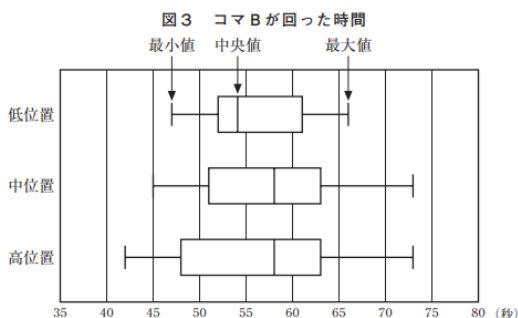
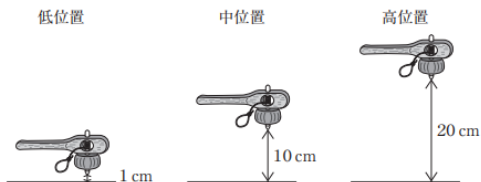
図1、図2のヒストグラムの特徴をもとに、より長い時間回りそうなコマを選ぶと、あなたならどちらのコマを選びますか。下のア、イの中からどちらか一方のコマを選びなさい。また、そのコマを選んだ理由を、2つのヒストグラムの特徴を比較して説明しなさい。どちらのコマを選んで説明してもかまいません。

ア コマA

イ コマB

### △ 箱ひげ図から分布の特徴を読み取ることができる (-9.3%)

- (2) 大地さんはコマAを、葉月さんはコマBを選びました。コマを回す練習をしていた葉月さんは、コマを回す高さによって回る時間に違いがあるのではないかと考えました。そこで、次の図のように、1cmの高さを低位置、10cmの高さを中位置、20cmの高さを高位置として、それぞれの位置から20回ずつコマBを回し、コマBが回った時間のデータを位置ごとに集めました。そして、それぞれのデータの散らばりの程度を比較するために箱ひげ図をつくりました。



葉月さんは、前ページの図3の箱ひげ図を比較して考えています。最大値と中央値は、低位置よりも中位置、高位置の方が大きいことから、葉月さんは低位置よりも中位置、高位置の方がより長い時間回ると判断しました。

次に、中位置と高位置の箱ひげ図を比較すると、箱が示す区間は高位置よりも中位置の方が短いことがわかりました。

このとき、箱が示す区間にふくまれているデータの個数と散らばりの程度について正しく述べたものを、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。

ア データの個数は中央値を中心とする全体の約半数であり、データの散らばりの程度は、高位置よりも中位置の方が小さい。

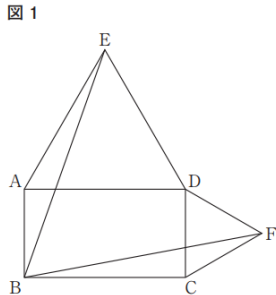
イ データの個数は中央値を中心とする全体の約半数であり、データの散らばりの程度は、高位置よりも中位置の方が大きい。

ウ データの個数は高位置よりも中位置の方が少なく、データの散らばりの程度は、高位置よりも中位置の方が小さい。

エ データの個数は高位置よりも中位置の方が少なく、データの散らばりの程度は、高位置よりも中位置の方が大きい。

△ 証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している (-8.4%)

9 次の図1は、長方形ABCDの外側に辺AD, DCを1辺とする正三角形ADE, DCFをかき、点Eと点B, 点Bと点Fを結んだものです。



琴音さんは、線分EBと線分BFについて次のことを予想しました。

予想

長方形ABCDの外側に辺AD, DCを1辺とする正三角形ADE, DCFがあるとき、 $EB = BF$ になる。

(1) 前ページの予想が成り立つことを、次のように証明しました。

証明

△ABEと△CFBにおいて、  
 正三角形の3つの辺はすべて等しいから、  
 $EA = AD$   
 長方形の向かい合う辺は等しいから、  
 $AD = BC$   
 よって、 $EA = BC$  ……①  
 同じようにして、  
 $AB = CF$  ……②  
 また、正三角形の1つの内角は $60^\circ$ であり、長方形の1つの内角は $90^\circ$ であるから、  
 $\angle EAB = 60^\circ + 90^\circ = 150^\circ$  ……③  
 $\angle BCF = 90^\circ + 60^\circ = 150^\circ$  ……④  
 ③, ④より、  
 $\angle EAB = \angle BCF$  ……⑤  
 ①, ②, ⑤より、 がそれぞれ等しいから、  
 $\triangle ABE \equiv \triangle CFB$   
 合同な図形の対応する辺は等しいから、  
 $EB = BF$

上の証明の  に当てはまる言葉を書きなさい。

△ 筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明することができる (県平均との比較-3.7%,全体正答率 6.2%)

(2) 琴音さんは、次の図2や図3のように、21ページの図1の長方形ABCDの辺の長さをいろいろに変えた図をかきました。このときも、 $\triangle ABE \equiv \triangle CFB$ が成り立つので、 $EB = BF$ がいえます。琴音さんは、 $EB = BF$ 以外にも、辺や角についていえることがないか調べました。

図2

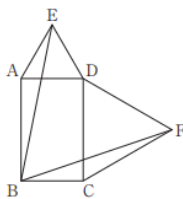
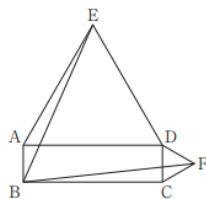


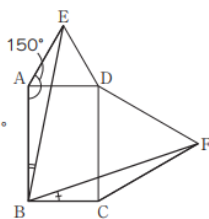
図3



調べたことから、琴音さんは、長方形ABCDの辺の長さを変えても、 $\angle EBF$ の大きさがいつでも $60^\circ$ になると予想し、次のように考えました。

琴音さんの考え

- ①  $\angle EBF$ について、  
 $\angle ABC = 90^\circ$ より、  
 $\angle ABE + \angle CBF = 30^\circ$ がいえれば、  
 $\angle EBF = 90^\circ - 30^\circ$ となり、  
 $\angle EBF$ が $60^\circ$ になることがいえる。
- ②  $\angle ABE + \angle CBF = 30^\circ$ になることは、 $\triangle ABE \equiv \triangle CFB$ からわかる等しい角と、  
 $\angle EAB = 150^\circ$ を用いて示すことができる。



$\angle ABE + \angle CBF = 30^\circ$ を示すことで、長方形ABCDの辺の長さを変えても、 $\angle EBF$ の大きさがいつでも $60^\circ$ になることが説明できます。琴音さんの考えの②にある $\triangle ABE \equiv \triangle CFB$ と $\angle EAB = 150^\circ$ はすでにわかっていることとして、 $\angle ABE + \angle CBF = 30^\circ$ になることを下の説明のに示し、 $\angle EBF$ の大きさがいつでも $60^\circ$ になることの説明を完成しなさい。

説明



$\angle ABE + \angle CBF = 30^\circ$ になることが示せたので、  
 $\angle EBF = 90^\circ - (\angle ABE + \angle CBF)$ より、  
 $\angle EBF = 90^\circ - 30^\circ = 60^\circ$ になる。



## 【その他、知識・技能に関わる問題】

- △ 簡単な連立二元一次方程式を解くことができる (-2.2%)
- △ 反例の意味を理解している (-4.6%)
- △ 一次関数の変化の割合の意味を理解している (-4.8%)
- △ 多数の観察や多数回の思考によって得られる確率の意味を理解している (-0.3%)

### 学校では

- 知識・技能について、多くの問題が県平均を下回り、課題が見られます。基礎的な計算力などの知識・技能の習得を図る必要があります。また、課題についての原因として学習への意欲が低いこと（児童生徒質問紙結果 参照）が考えられます。この状況を改善するために、習得した知識・技能を活用した数学的思考を必要とする問題や生活と結びついた問題に取り組むことで、基礎的な知識・技能の必要性が感じられる授業づくりを進めていきます。学ぶことの意味が感じられる授業づくりを目指すことで、学ぶ意欲の向上と知識・技能の向上を図ります。

また、基礎的な知識・技能の習得を図るため、AI型ドリル教材等を活用して、個々の理解度に応じた学習を進めます。AI型ドリル教材では、本人のつまづきに応じた解説が示され、苦手とする問題が繰り返し出題されるので、個人の理解に合わせた学習を自分のペースで進めることができます。

- R3年度に引き続き、図形の証明問題などの数学的思考を必要とする問題についても課題が見られます。授業の中で一人一人が問題の解き方をじっくりと考える時間を確保すると共に、友達と学び合う活動に時間をかける授業づくりを進めていきます。さらに学び合いの中で「答えをどのように求めたのか」「なぜそのように考えたのか」など自分の考えを説明する活動を一層大切にして、数学的に思考する力やわかりやすく説明する表現力を高めていきます。

中学校  
理科

- ◎ 未知の節足動物とアリの外部形態を比較して共通点と相違点を捉え、分類の観点や基準を基に分析して解釈できるかどうかをみる (+6.3%)

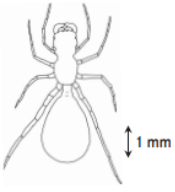
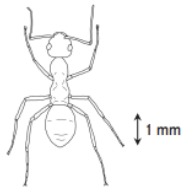
アリの行列のそばにいた、アリと外見が似た生物Xに気付き、観察を行いました。

レポートの続きの一部

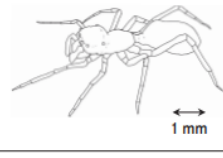
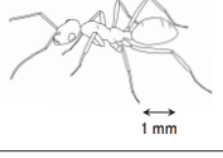
**【新たな課題】**  
生物Xは昆虫か。

**【観察】**  
生物Xとアリを透明なビンに入れ、それぞれスケッチして比較する。

**【観察の結果】**  
上

|   |   |
|---|---|
| 生物X   | アリ  |
|  |  |

横

|  |   |
|--|---|
| 生物X  | アリ  |
|  |  |

**【考察】**  
.....

(3) 生物Xは昆虫かどうか、下のア、イの中から1つ選びなさい。また、その根拠を書きなさい。

- ア 昆虫である    イ 昆虫でない

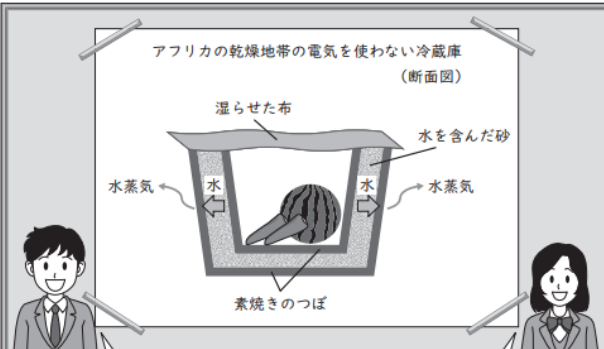
- △ 液体が気体に変化することによって温度が下がる身近な事象を問うことで、状態変化に関する知識及び技能を活用できる (-16.6%)

- 7 水の状態変化について科学的に探究したことを、2つのグループが理科の授業でポスター発表しています。  
(1)と(2)の各問いに答えなさい。



グループ1 水が水蒸気になるときの温度変化

アフリカの乾燥地帯の電気を使わない冷蔵庫 (断面図)



素焼きのつぼには小さな穴がたくさんあり、水が表面にしみ出します。

空気が乾燥しているので、しみ出した水は、すぐに熱をうばって蒸発するため、全体が冷えます。

(1) 下線部としくみが同じ現象を、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| ア   | イ   | ウ   | エ   |
|  |  |  |  |
| かき氷をすくった金属のスプーンの温度が下がる  | ラムネ菓子を食べると化学変化で口の中の温度が下がる   | アルコールで手を消毒すると、手の温度が下がる  | 氷に食塩をかけると0℃より温度が下がる   |



△ アリの行列のつくり方を探究する場面において、視覚による情報を基に行列をつくるかを調べた実験の結果を分析して解釈し、課題に正対した考察を行うことができるかどうかをみる (-9.6%)

8 「ファーブル昆虫記」を読んで、アリの行列のつくり方に興味をもち、科学的に探究しました。  
(1)から(3)までの各問いに答えなさい。



レポートの一部

【課題1】

アリは、視覚による情報をもとに行列をつくるか。

【実験1】

① 図のように行列を覆い、10分間まわりの景色を見えなくする。

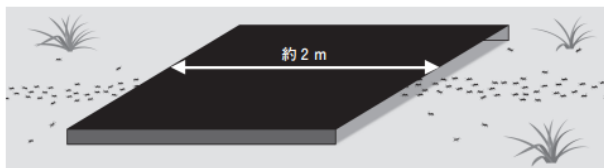


図 覆いをしたようす

- ② 覆う前後の行列のようすを写真に撮り、比較する。  
③ ①と②の操作を別のアリの行列で3回繰り返す。

【結果1】

6月9日(13時から15時) 場所: 中央公園

|        |     |     |     |
|--------|-----|-----|-----|
| 覆いをする前 |     |     |     |
| 覆いをした後 |     |     |     |
|        | 1回目 | 2回目 | 3回目 |

【考察1】

この実験の結果からは、アリの行列のようすは  ので、 と考えられる。

(1) 、 に当てはまる適切な言葉をそれぞれ書きなさい。

学校では

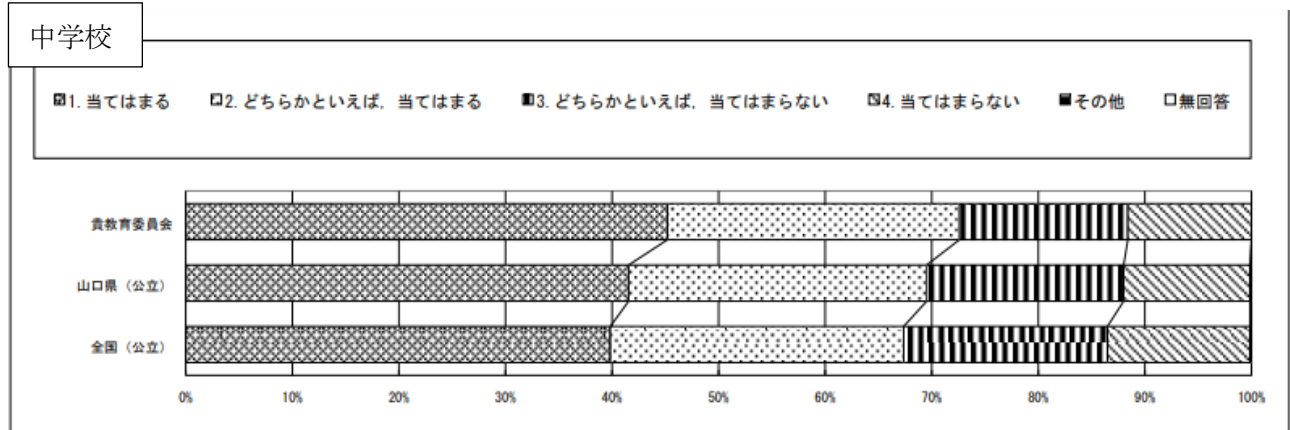
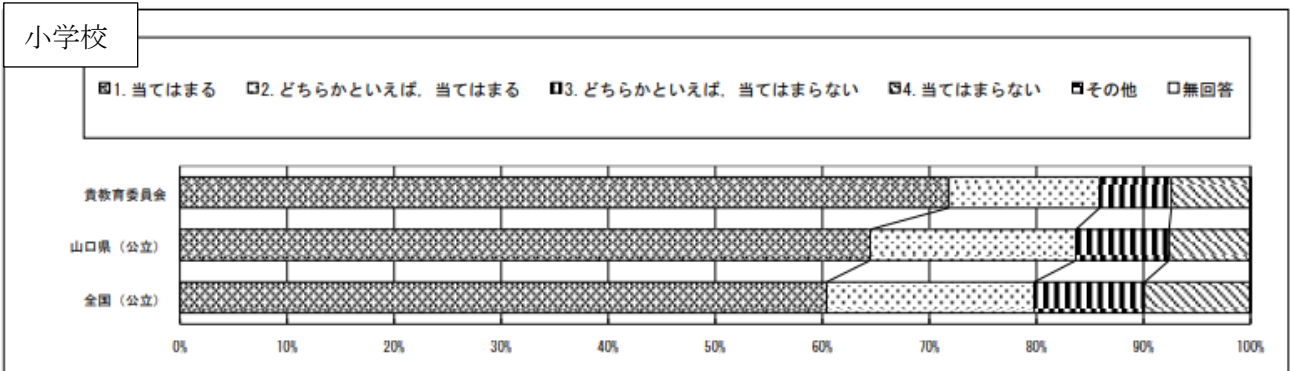
- 前回理科が実施された H30 年度と比較して、実験結果を考察したり、知識を活用したりするなどの科学的な思考において課題が見られます。
- 知識を身につけるだけでなく、身近にある事象や現象と結びつけることで、なぜそうなるのかという理由を科学的な視点で説明する授業づくりを進めていきます。
- 観察・実験したことからわかったことや気づいたこと、疑問に思うことなど、自分の考えをレポートとしてまとめたり、根拠を示して発表したりする表現活動を授業の中で行います。また、思考を広げたり、深めたりすることができるよう、自分の考えを友達と話し合う活動を通して共有し、それらの考えをもとに考察を深め、論理的にまとめることで科学的な思考力を高めます。

(2) 児童生徒質問紙調査の結果

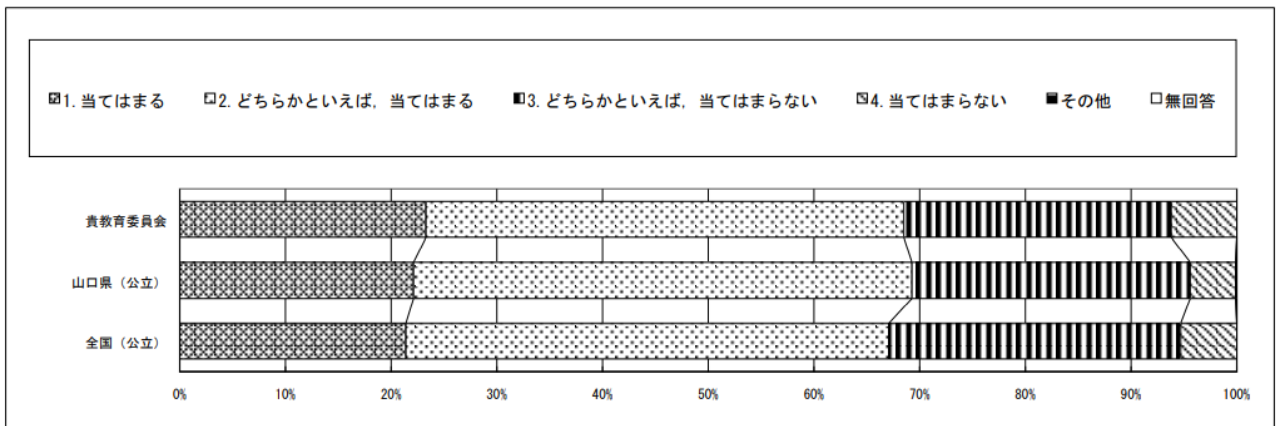
(( )) は県平均との差、R3 と比較して改善傾向が見られる場合は↑、課題が大きくなった場合は↓)

望ましい状況

「将来の夢や目標を持っていますか」 (小+7.5%↑、中+3.6%↑)  
【R3…小-1.1%、中-1.5%】

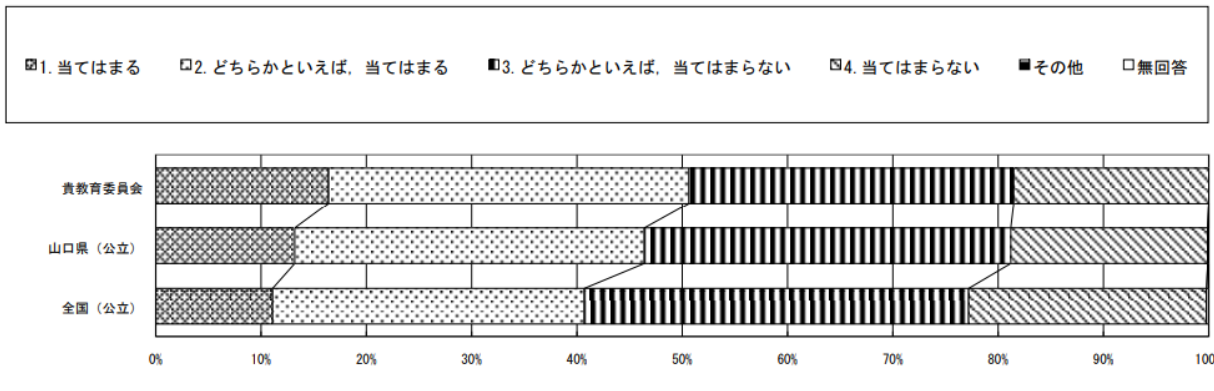


「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか」 (中+1.2%↑)  
【R3…中-11.3%】



「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」

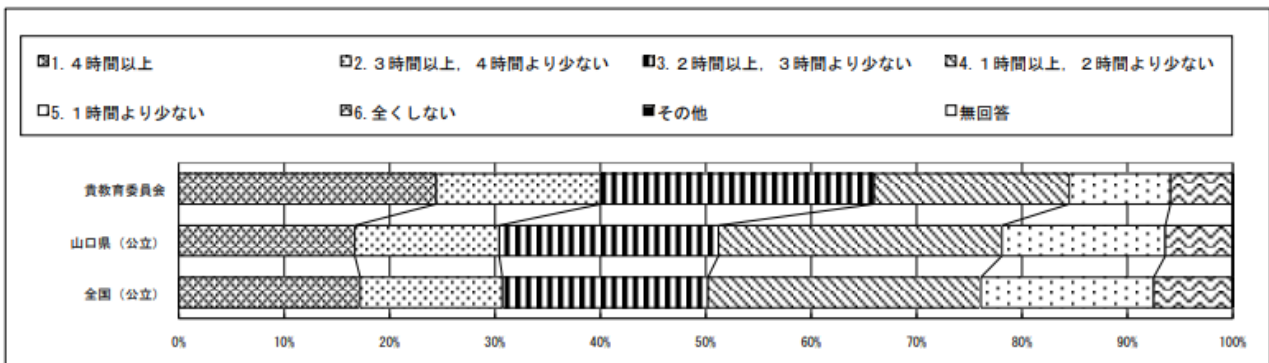
(中+3.2%↑)【R3…中+0.9%】



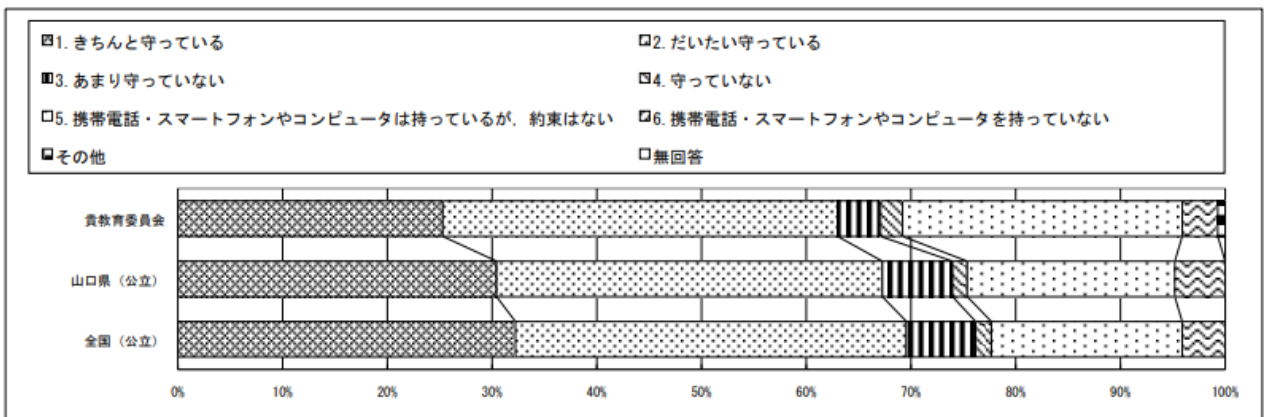
### 課題と見られる状況

「普段、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか (4時間以上)」

(小+7.7%↓)【R3…小+0.4%】

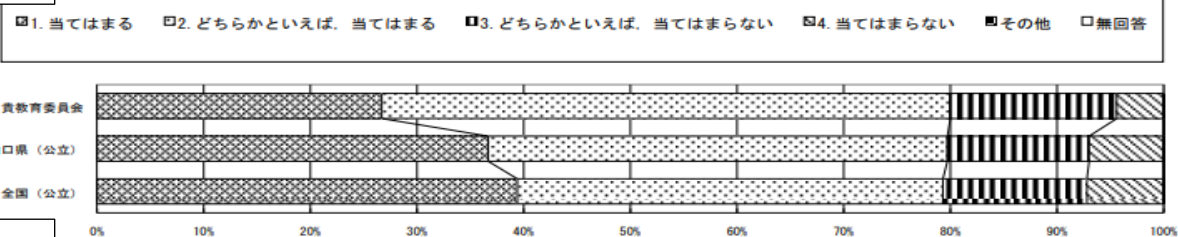


「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている」(中-5.1%↑)【R3…中-11.7%】

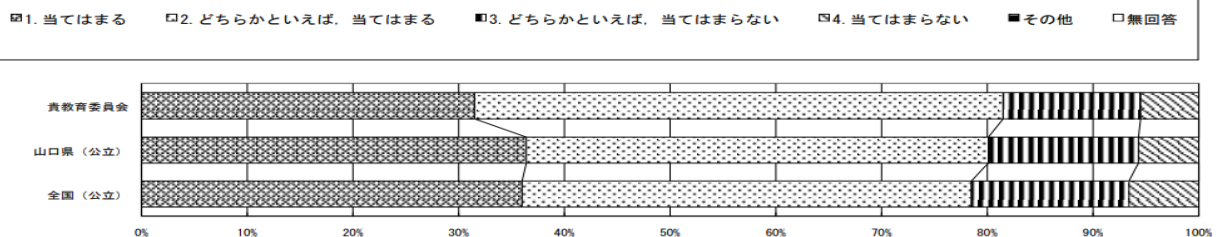


「自分によいところがある」(小-10.0%↓、中-4.9%↑)【R3…小-8.4%、中-10%】

小学校

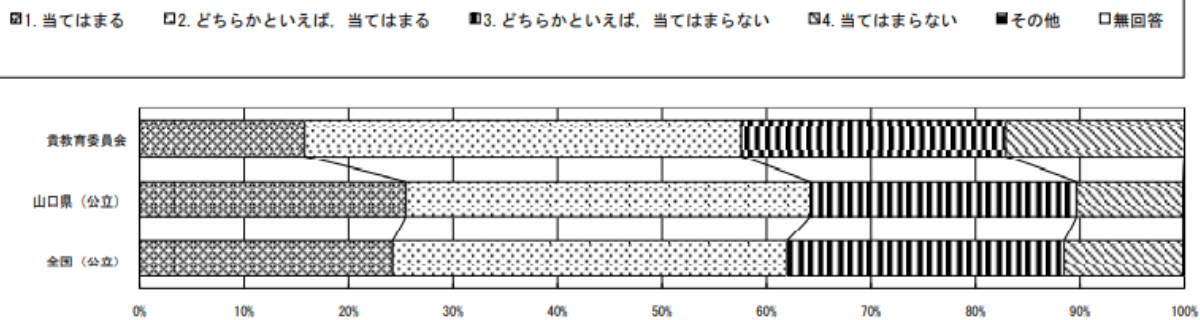


中学校

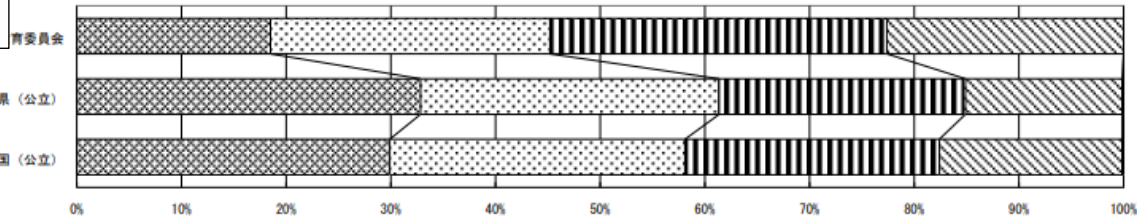


「国語の勉強は好きですか」(中-9.7%↑)【R3…中-11.8%】、  
 「数学の勉強は好きですか」(中-14.3%↑)【R3…中-16.1%】  
 「理科の勉強は好きですか」(中-2.0%) 【R3…実施なし】

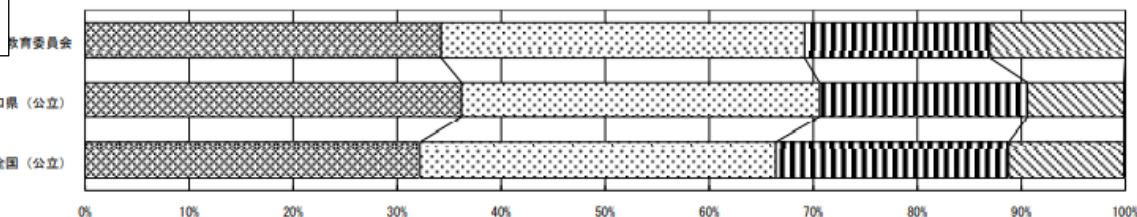
国語



数学



理科



○ **自分への肯定的な気づきを促す他者と関わる学習の推進**

各学校で多くの子供たちがもっている地域貢献への意欲を生かして、生活科や総合的な学習の時間等に、地域の様々な人と関わり合いながら活動し、地域に貢献していく学習を行います。教室の中で完結する学びではなく、地域に学びの場を広げ、多くの人と関わり、認めていただくことで自己肯定感を高め、社会の中で生きて働く力を育成していきます。

○ **楽しく、学ぶ意欲が高まる授業づくり**

子供たちの授業に対する意欲が低いという課題があります。そこで、市内小中学校の教員全体で「児童生徒が自ら学ぶわくわくする授業」を目指し、「子供と共に作る授業」「子供に任せる授業」を進めています。今後も、児童生徒一人一人が楽しく充実感を感じる授業になるように授業改善を進めます。

具体的には、提示する学習課題を工夫し、子供たち同士の対話を大切にしながら「自分たちの力で解けた」「分かった」と思える授業づくりや「自由進度学習」と呼ばれる一人一人に合ったペースや方法で学びを進めていく授業づくりを行うことにより、自ら学習に取り組む楽しさを感じられるようにします。また、授業以外の生活の場とも関連させることによって、各教科で学んだ知識や考え方が日々の生活の中で活用できるという学びのよさを実感できるようにします。

○ **関わり合う力を高め、個に応じた学びを充実させるための日常的なICTの活用**

タブレット端末で自分の考えや作品等をみんなで共有したり、それを元に話し合ったり自分の考えを練り直したり、別の学校とオンラインでつないだ遠隔授業をしたりする等、日常的に、そして効果的にICTを活用しながら、子供たち同士が関わり合い学び合える授業を今後も推進していきます。また、AI型ドリル教材「Qubena（キュービナ）」を活用し、一人一人の理解度に応じた学習を行います。

これからの時代に必要なICTリテラシー等が身に付くよう、授業だけでなく様々な活動において、日常的にICTの活用を進めていきます。そして、ICTの適切な使い方や情報モラル等の指導も充実させていきます。

○ **小中一貫カリキュラムに基づく、小中9年間の連続した系統的な学び**

美祢市では今年度から全中学校区で小中一貫教育がスタートしました。各中学校区では小中9年間で連続した系統的な学びを進めていくためのカリキュラムを作成しています。このカリキュラムをブラッシュアップすると共に、小中学校がこれまで以上に連携し、小中学校相互の教員による授業参観や乗り入れ授業、子供たち同士の交流活動を通して、一人一人の学びを充実させることで学力向上を図っていきます。



## 家庭では

### ○ 自己肯定感を高める声掛け

自分のよさを知り自信を深めるために、家庭でも子供たちの姿によいところが見られたときには、温かな声掛けをお願いします。そうすることで子供たちの自己肯定感がさらに高まります。

### ○ 望ましい生活習慣の確立

望ましい生活習慣が、学習に対する意欲の向上や学習内容の定着、情緒の安定につながります。早寝・早起き・メディアコントロール等、自分で生活をコントロールできるよう力がつきますよう、今後もお子様への声かけをお願いします。

### ○ 様々な体験による学び

子供たちは授業で様々なことを学びます。その学習内容が実生活と結び付くことで学ぶ意味を理解し、学んだことが学力として定着します。社会での様々なことについて広く会話をしていただいたり、料理や買い物を一緒にしていただいたりと多くの体験をすることが大切です。

また、失敗を恐れずに挑戦できる子供を育成していくために、失敗も学びであることを伝え、なぜ失敗したのか、今後どう生かしていくかを考えていけるような声かけが大切です。特に中学校では、R3年度からの大幅な改善が見られます。引き続き、子供の積極的なチャレンジの後押しをどうぞよろしくお願いいたします。

### ○ 学校との連携・情報共有

現在子供たちに求められている学力について、また、学校で行われている教育活動について、学校と情報を共有していただくことで、よりよい学びを一緒に進めていただきますようお願いいたします。

○ 「学校が楽しい」と思える授業づくりについての研修

授業改善を進め、日々の授業において、子供たちが「わかった！おもしろい！と思える授業」や「ともに考え新たな発見が生まれる授業」が実践できるように、教育委員会と先生方が一緒になって研修を今後も継続して行います。また、自分に合ったペース、学習方法で学習を進めていく「自由進度学習」を取り入れた授業づくりを行うことで、主体的に学び、自分で学びをマネジメントできる子供の育成を目指します。

○ 自己肯定感が高まる地域連携

市教育委員会として、コミュニティ・スクールの仕組みを生かした家庭や地域と連携した取組を9年間の連続的で系統的な小中一貫の教育活動として推進していき、地域ぐるみで子供たちがよさを発揮できる場を増やしていきます。

また、子供たちによる探究学習の場を地域に広げ、課題について調べたり、学んだことを積極的に発信したりすることにより、学ぶことの楽しさを感じると共に思考力、表現力を身につけられるようにしていきます。

○ ICTを活用した教員による学校間連携

美祢市ではマイクロソフト社が提供しているコミュニケーションアプリ「Microsoft Teams」を活用して、子供だけではなく、教員同士の学校間連携も進めています。Teamsを通して、各学校の好事例を共有したり、学校間で具体的な取組についての連絡を取ったりしています。小規模校が多い美祢市にとって、学校間で連携を進めていく意義はとても大きいものです。今後もICTを活用し、学校間での教員による協働をさらに進めていきます。

○ 子供たちの社会的自立を目指す mineto 教育改革プロジェクト

(美祢市公設塾 mineto 他)

昨年度より美祢市公設塾 mineto を開設しました。公設塾 mineto は、「子供たちの好奇心を引き出し挑戦する力を育む」ことを目的とした、中学生対象の学びの場です。地域の方々をはじめ、多くの人と交わり合う学びを通して、一人一人が学習意欲を高めていくとともに、子供たちの好奇心や挑戦する心を引き出し、「自ら考え未来を生き抜く力」を身に付けられるよう支援していきます。また、SFC（慶応義塾大学 湘南藤沢キャンパス）学生との合宿や mineto 子どもキャンプの活動を通して、「自己決定・自己表現」ができる児童生徒の育成を進めています。mineto で学んだ子供が、その学びを各学校での活動に活かし、広めてくれることを期待しています。

これからも、美祢市の未来を担う子供たちが、よりよい教育環境の中でより充実した学びができるよう、学校・家庭・地域が一緒になった取組を推進していきます。